



▲「首里城原寸場にて唐破風妻飾・向拝奥彫刻物」令和7年1月24日撮影

# 首里城復元と人材育成



▲「首里城正殿唐破風（部分）」（鎌倉芳太郎写真 原板/沖縄県立芸術大学 附属図書・芸術資料館蔵、冲芸大・東文研共同研究2024）



▲「首里城原寸場にて唐破風妻飾（臺股・火焰宝珠・瑞雲）」令和7年1月24日撮影

2026.

# 7.18<sub>土</sub>

入場無料

14:00～16:00  
(開場 13:30)

講師 波多野 泉氏 (沖縄県立芸術大学学長)

会場 3階 講堂

受付 当日先着 (定員200席)

お問合せ 098 - 941-8200

主催 沖縄県立博物館・美術館

首里城正殿の令和の復元は、平成の復元以降の資料研究や古写真の画像分析等から得られた新たな知見を基に様々な変更が加えられ、より往時に近いものとなるよう平成復元時に比べ監修体制の充実が図られました。

本講座では、その監修体制の下で進められた、主に正殿木彫刻の復元過程を例に、琉球芸術の継承とそれを担う人材の育成について考えてみたいと思います。



【講師】波多野 泉 (はたの いずみ) 沖縄県立芸術大学 学長

1957年、滋賀県生まれ。専門は彫刻（木彫、塑造、乾漆等）。沖縄県立芸術大学教授、国立台湾藝術學院（現・国立台湾藝術大學）招聘國外客座芸術家副教授を経て、現在は沖縄県立芸術大学学長を務める。当館の実施する琉球王国文化遺産集積・再興事業では、石彫・木彫の分野監修の監修員として復元に携わる。

※駐車場の混雑が予想されますので、公共交通機関のご利用をお願いいたします。  
※席数に限りがあり、ご入場いただけない場合がございます。  
※会場内は空調の影響で寒くなる場合があります。

